柿（かき）

科 名	カキノキ科
原産地	日　　本

制　作
JAファーム 専門部会
（無断転載禁止）

1 植え付け

栽培条件

水はけの悪い場所を嫌いますので、排水の良い土壌に植えつけましょう。
また、霜の降りやすい場所は避けましょう。

植え付け時期

春植えがお奨めです。

品種の選定

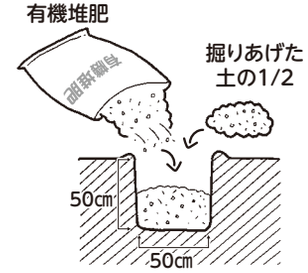
甘柿や渋柿には様々な種類があります。
詳しくは、店舗職員にお尋ねください。

一年の流れ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	植え付け								収　穫		
整枝・剪定										施　肥	

植え付け

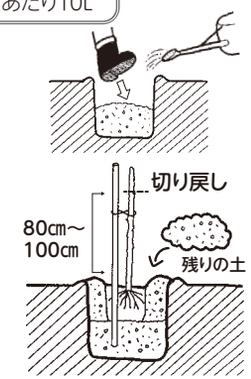
①成木になったときを想定し、周囲5～7メートルに障害物が無い場所を選びましょう。
穴の大きさは、直径50cm程度、深さ50cmの植え穴を用意します。
掘り上げた土の半分程度とJAファーム有機堆肥をよく混ぜて埋め戻します。



・JAファームオリジナル有機堆肥20L：一穴あたり10L

②軽く踏み固めて沈降を防ぎます。
植え付け前にたっぷり水をあげましょう。

③根鉢ごとポットからやさしく取り出し、そのまま植え穴に入れます。
接木部が若干地表に出るように覆土します。
支柱を立て誘引し、倒伏を防ぎます。
樹高が高い場合は、80cm～100cm位で切り戻します。



乾燥対策

乾燥防止と雑草対策のためにワラを株元に敷きましょう。

2 施肥・防除

施　肥

11月～12月ごろに元肥を与えます。
若木のうちは、特に肥料やけを起しやすいため、施肥量には注意しましょう。

・肥料：JAファーム果樹専用肥料
・量（1本あたり）：3年樹まで…… 500g
5年樹まで……1kg
10年樹まで……5kg

病　害　虫

○害　虫
カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カメムシ、カイガラムシ、カキノヘタムシガ、フジコナカイガラムシ

○病　気
・炭疽病（灰色や黒ずんだ円形の斑点）
・落葉病
・うどんこ病（葉の表面に白い粉がふく）

◎病害虫防除は予防が大切です。
定期的に行いましょう。
◎農薬は使用方法をよく確認し、正しく使いましょう。
分からないことがあればなんでもご相談ください。

3 整枝・剪定

剪定の時期

剪定は、1月下旬から3月上旬にかけて行います。
切口には「トップジンMペースト」など塗布剤をぬります。

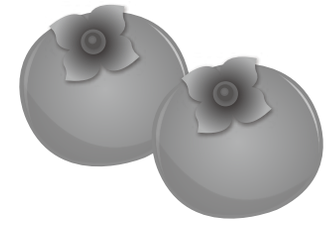
整枝・剪定って？
樹形を整える事で、樹冠内への日照を良くすることで、品質の良い果実を沢山収穫する為の技術です。

1～2年目　3～5年目　6年目以降

2年目は先端から伸びる新梢のなかから、最も強い枝を選び、それ以外の枝は切り落とします。残した枝も先端を切り戻します。横に伸びた新梢はそのまま残しましょう。
3～5年目は、主幹の延長部分を1本残し、そのほかの新梢は切り落とす。残した1本も先刈りを行う。主枝候補を徐々に絞りながら、先端を1本に整理し、先端を切り戻します。
6年目以降は、主枝を4本程度に決め、その他の主枝候補は切り落とし、主枝を育てていく。主枝が十分に育ったところで、3年程度をかけ、徐々に主幹を切り下げ、樹形を完成させます。

冬　春　翌冬

柿の実は、結果母枝という枝から伸びる新梢につきます。実がつくのは先端の数芽なので、この芽を落とさないようにしましょう。
実の収穫が終わった枝は、冬の剪定の際に切り戻しましょう。

4 収　穫

収穫できるまでには、植え付けから4～5年程度かかります（接木苗の場合）。
収穫時期は、品種にもよりますが、およそ10月下旬から11月上旬です。収穫のタイミングの目安は、ヘタの周りまでしっかり着色しているかを目安としましょう。
渋柿は干し柿にして楽しむのもいいですが、渋抜きして生食としても楽しめます。渋抜きには、アルコールを使った方法などがあります。ぜひ渋抜きにもチャレンジしてみましょう。